

新規就農へ13人
基礎知識を学ぶ
県の研修会スタート
新規就農に向けて学
ぶ研修生を対象に、設
備投資に向けた資金確

支援制度や農業経営の知
識について学ぶ新規就農
研修生＝岐阜市藪田南
OKBふれあい会館



保や経営管理などをテ
ーマにした県の研修会
が、岐阜市藪田南のO
KBふれあい会館で始

まった。岐阜や西濃地
域で農業を学ぶ30～50
代の13人が集まり、農
業経営の基本知識を学
んでいた。
農業や農村の維持と
発展のため、5年で2
千人の新規就農者増を
目指す県の「担い手育
成プロジェクト200
0」の一環。栽培や作
付けなど農業技術だけ
でなく、事業としての
農業経営について知識
を身につける。今回と
9、10月の計3回で、
グループミーティング

などで情報交換も行
う。
JA全農岐阜いちご
新規就農者研修所(岐
阜市)や県就農支援セ
ンター(海津市)、各
地の農業法人などで農
業技術を学ぶ研修生が
参加。初日の28日に行
われた研修会では、県
の担当者が県による支
援制度を紹介。就農を
支える給付金や、資金
調達のための就農計画
作成のポイントなども
説明した。また、農業
委員会制度や、農地の
貸借に関わる関係法の
解説などもあった。

(原田大介)